

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

3-2

3-2

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
	節			
事業(施策)名	2 佐渡金銀山遺跡等発掘調査		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○構成資産の価値をより高めるとともに、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○構成資産や関連する遺跡等を対象として、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値をより深めるための研究を推進・継続する。</p>			
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <p>●世界遺産登録に向けた各種事業の優先順位を整理し、他の事業との調整を図りながら、中・長期の発掘調査計画を策定する。</p> <p>【元年度実績】</p> <p>●各種事業の優先順位を整理し、上相川地区、西三川砂金山跡、鶴子銀山跡の中～長期的な発掘調査の計画を検討し、史跡整備基本計画へ記載した。</p>			
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■学術的な調査については、長期事業計画の中で他の事業と調整を図りながら計画を検討する必要がある。ただし、保存活用に係る各種整備事業に伴う確認調査については、必要に応じて実施していく必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■西三川砂金山地域に所在する金子勘三郎家住宅の主屋保存整備に併せて、工事着手前に確認調査を実施する。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a ● b · c]</p> <p>◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[a ● b · c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[A ● B · C]</p>			

a: 進んでいる。高い。

b: 概ね順調。概ね適切。

c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。